

メインテーマ

Bチーム：歯科医療の未来を切り拓く

講師陣 講演要旨

直接/間接修復におけるユニバーサルボンディング材のマネジメント
～予知性の高い接着修復の達成を目指す～

富士谷 盛興

直接法コンポジットレジン修復、ならびにセラミックスやレジンによるCAD/CAM インレー/クラウン修復において、接着システムの「簡便化」と「汎用化」を実現したユニバーサルボンディング材は必要不可欠である。しかし、予知性の高い「確実な」接着修復を目指すには、その性能を最大限引き出すためのマネジメント法に熟知しておく必要がある。本講演では、直接あるいは間接修復におけるユニバーサルボンディング材の効果的使用法について、臨床的観点より知識を整理したい。

睡眠時無呼吸治療の最前線

外木 守雄

閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）は、気道が狭窄もしくは閉塞して、イビキ、無呼吸が発生し、安眠できないことから、日常生活に支障をきたす病気である。我々歯科医師が製作する口腔内装置は、このイビキ、低・無呼吸に大きな効果があり、睡眠時の呼吸不全を治すことで“睡眠の質を高める”ことが知られている。しかし、OSAは、単純に口腔内装置（OA）を行えば良いものではなく、個々の病態にあった適切な治療法が選択されないと生命予後にも関与するので、十分な知識と注意が必要である。

今回、睡眠障害の基礎知識、睡眠関連呼吸障害と顎骨、咬合との関連及び装置療法について最新の知見を紹介する。